

量産型車両用エンジンを使用した排水ポンプの社会実装に向けて ～マsproダクツ型排水ポンプ設備実証試験開始式を開催～

～福知山河川国道事務所～

本実証試験は、量産型の車両用エンジンをポンプの動力に用いたマsproダクツ型排水ポンプ設備の社会実装に向けて、ポンプ設備の耐久性・操作性・現場適用性・維持管理性などの検証を行うものです。

この度、内水被害が頻発する福知山市^{ふくちやま}蓼原地区において、ポンプ設備の据え付けが完了しましたので、実証試験開始式を開催しました。

実証試験開始式の概要

日時: 令和5年8月8日(火) 14:00～14:20
場所: 大江町総合会館
主催: 福知山河川国道事務所
出席者: 福知山市長、福知山市議会議員、地元自治会長、
福知山河川国道事務所長



式典の様子

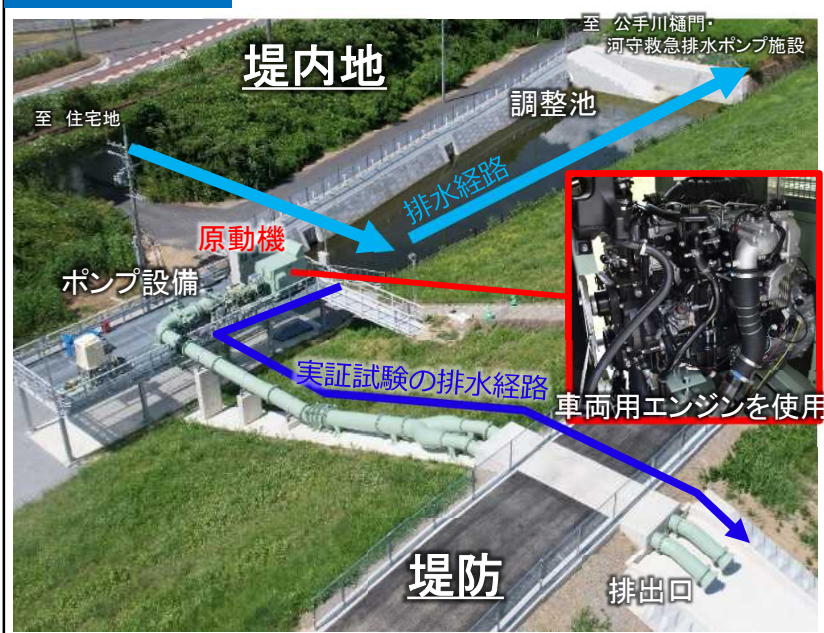


福知山市大橋市長

本市が全国6市町の現場実証地のうちの1か所に選定された。地元も大変期待している。本市としても、この実証実験に協力して参りたい。



現地概要



実証試験の背景

- ポンプ設備をとりまく課題
- ①ポンプ大更新時代の到来
 - ②維持管理の担い手減少・高齢化
 - ③水害の激甚化・頻発化

機械設備を汎用化・量産化
(マsproダクツ化) し、
課題解決を図る

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 流域治水課
〒620-0875 福知山市堀2459-14 TEL 0773-22-5104(代表)



水防災意識社会
再構築ビジョン

